

茨城大学大学院理工学研究科応用粒子線科学専攻 修了生 各位

修了生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

修了生の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ご存知のように国立大学の法人化に伴い、大学は、教育・研究の両面から社会の要求に応えるべく、いろいろな観点からの評価と改善が必要になってきております。本専攻では、このような時代の要請に応えるべく、教育改善に取り組んでおりますが、さらに改善・充実していくためには、修了生の皆様にご意見をお伺いし、今後の教育改善に反映させていくことが極めて重要と考えます。

つきましては、修了生の皆様が本専攻在学中に受けられました教育について、忌憚のないご意見をいただくことを目的にアンケートをお願いする次第です。皆様には大変ご多忙の折とは存じますが、比較的簡単な設問に限らせていただきますので、よろしくご回答をお願い申し上げます。

なお、このアンケートは本専攻の授業改善と教育評価に活用させて頂くためのものであり、個人名を記入していただく必要はなく、個人を特定する固有情報は含みません。

以上の点をご理解頂きまして、茨城大学本専攻における教育に対するご意見と公正な評価をいただければ幸いです。

今後とも、茨城大学応用粒子線科学専攻のためにご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆様の益々のご躍進をお祈り申し上げます。

敬具

平成 21 年 12 月 29 日

茨城大学大学院理工学研究科応用粒子線科学専攻
専攻長 佐久間 隆

< 同封物 > アンケート質問票 と 返信用封筒

同封の返信用封筒により、1月末日までにアンケート質問票のみをご返送いただきますよう、よろしくお願い致します。

本件に関する問い合わせ先：茨城大学大学院理工学研究科応用粒子線科学専攻 佐藤直幸
TEL/FAX 0294-38-5109
E-mail sato.ele@mx.ibaraki.ac.jp

修了生アンケート 質問票

以下の質問項目（1－32）について、本紙の番号に丸を付けて下さい。当てはまらない場合は、その他の欄にお書き下さい。

A. 修了年次と学部時代の学科についてお答えください。

1. 修了年次

① 平成 17 年度（第一期生）、② 平成 18 年度、③ 平成 19 年度、④ 平成 20 年度、⑤ 平成 21 年度（予定）

2. 出身学科

① 機械、② 物質、③ 電気電子、④ メディア通信、⑤ 情報、⑥ 都市システム、⑦ システム、⑧ 数学・情報、⑨ 物理、⑩ 化学、⑪ その他、他大学学部等（ ）

B. あなたの現在の就職先（予定）と進学先

3. 就職先と進学先

① 大学院前期で就職、② 大学院後期で就職、③ 大学院前期在学中、④ 大学院後期在学中

① と ② にお答えいただいた方は次の 4 から 7 の質問にもお答えください。

③ にお答えいただいた方は、C（8 の質問）へお進みください。

4. 業種

① 製造業、② 情報・ソフトウェア、③ 商社、④ サービス業、⑤ 公務員、⑥ その他（ ）

5. 企業に就職された方はその規模（従業員数）

① 100 人以下、② 100～500 人、③ 500～1000 人、④ 1000～5000 人、⑤ 5000 人以上

6. 職種

① 研究開発、② 生産技術、③ 品質管理、④ 営業、⑤ 事務職、⑥ その他（ ）

7. 海外進出

① 海外にオフィスがあり海外勤務の可能性がある、② 海外にオフィスがあるが海外勤務の可能性がない、③ 海外にオフィスがない、④ その他（ ）

C. 以下にあなたが茨城大学で受けた教育についてのご意見を伺います。

質問事項に対しての回答欄は、例えば、満足[1, 2, 3, 4, 5]不満足、のように 5 段階で表示されています。これは、1：満足である、2：やや満足である、3：普通、4：やや不満足である、5：不満足、という意味です。1 2 3 4 5 のいずれかをマークシートに記入してください。

「わからない」という回答の場合には、マークをししないでください。

8. あなたが茨城大学あるいは他大学で受けた学部の基礎教育は、十分であったとお考えですか。

十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分

9. あなたが茨城大学あるいは他大学で受けた学部の専門教育は、十分であったとお考えですか。

十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分

10. あなたが本専攻で受けた必修の共通科目は、十分であったとお考えですか。

十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分

11. あなたが本専攻で受けた選択科目において基礎と応用のバランスは、いかがでしたか。

基礎に偏りすぎ[1, 2, 3, 4, 5]応用に偏りすぎ

12. あなたの就職に際し、本専攻の教育は、役に立ちましたか。
役に立った[1, 2, 3, 4, 5]役に立たなかった
13. あなたの現在のお仕事に、本専攻の教育は、役に立ちましたか。
役に立った[1, 2, 3, 4, 5]役に立たなかった
14. 講義のレベルは適切でしたか。
易しすぎた[1, 2, 3, 4, 5]難しすぎた
15. 教育の環境や設備等は、適切でしたか（講義室の場所、教室の広さ、冷暖房など）。
適切[1, 2, 3, 4, 5]不適切
16. 教員の講義に対する取り組みは、適切でしたか。
適切[1, 2, 3, 4, 5]不適切
17. カリキュラムは時代の要請に即していましたか。
適切[1, 2, 3, 4, 5]時代遅れ
18. 受講しなかった分野で開講されていなかったものはありませんでしたか。
なかった[1, 2, 3, 4, 5]たくさんあった
19. 講義は知的好奇心を満たすものでしたか。
満たした[1, 2, 3, 4, 5]満たさなかった
20. 日本語による論理的記述能力に関する教育は、十分でしたか。
十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分
21. 日本語による口頭発表能力や討論などのコミュニケーション能力を身につけることができましたか。
できた[1, 2, 3, 4, 5]できなかった
22. 英語の教育は、十分でしたか。
十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分
23. 成績の評価は、適切でしたか。
適切[1, 2, 3, 4, 5]不適切
24. 単位数の縛り、必修、選択の単位数は、適切でしたか。
適切[1, 2, 3, 4, 5]不適切
25. 修士研究における設備は十分でしたか。
十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分
26. 修士研究における安全・衛生面に対する配慮は十分でしたか。

十分[1, 2, 3, 4, 5]不十分

27. 修士研究における教員の指導状況は適切でしたか.

適切[1, 2, 3, 4, 5]不適切

28. 計画的に仕事を進める能力を身につけることができましたか.

できた[1, 2, 3, 4, 5]できなかった

29. チームを組んで良好な対人関係を保ちながら仕事を進める能力を身につけることができましたか.

できた[1, 2, 3, 4, 5]できなかった

30. 技術者として必要な倫理観を身につけることができましたか.

できた[1, 2, 3, 4, 5]できなかった

31. これからの技術者に必要なグローバルな視点から物事を見る能力を養うことができましたか.

できた[1, 2, 3, 4, 5]できなかった

32. 下記にご意見をお書き下さい.

以上でアンケートは終わりです. ご協力ありがとうございました.

アンケート返送先: 茨城大学大学院理工学研究科 応用粒子線科学専攻

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町 4-12-1

佐藤直幸 行